科目番号	53011	分類	専門科目 臨床看護学領域	履修者	看護科学コース （看護教育・研究者プログラム）	学年
科目名	小児看護学特論Ⅰ （ Advanced Course in Pediatric Nursing 1 ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 前期
担当者	○中島　美津子　他１名	区分	選択	単位	2	時間数 30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 現代の日本社会において、子どもの成長・発達および生活環境を理解し、子どもと家族の理解を深めるために諸理論を探求する。 （オムニバス方式／全１５回） 【目　標】 子どもを取り巻く生活環境を理解したうえで、子どもの成長・発達に関わる諸理論を理解する。		1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
		4. 実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
1	オリエンテーション、理論分析及び活用方法	中島 他１名
2	クラウス、ケネル：ボンディング理論	
3	ウィニコット：対象関係論	
4	ゲゼル：成熟論	
5	ボウルビィ：愛着形成	
6	マーラー：分離固体化理論	
7	デュバル：家族発達理論	
8	子どもと家族をめぐる理論（1）エリクソン	
9	子どもと家族をめぐる理論（2）フロイト	
10	子どもと家族をめぐる理論（3）ボーエン、ミルトン	
11	家族システム理論	
12	子どもと家族と社会をめぐるコーピング理論、レジリエンス理論	
13	子どもと家族と社会をめぐるセルフケア理論、ストレスマネジメント理論	
14	子どもと家族と地域社会をめぐるソーシャル・サポート、ソーシャル・キャピタル	
15	諸理論の総括	

事前・事後学習	・事前課題：事前に提示する理論について自分なりの考察をまとめ講義に臨む。 ・事後課題：事前の考察から自分の現場を通した考察を深め関連文献を読み、最新の知見をまとめる。 ・単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	・プレゼンテーション（20%）、討議への参加度（30%）、課題レポート（50%） ・適宜フィードバック
参考図書・資料等	最新論文と共に、適宜紹介する。
備　考	オフィスアワーは、学生ホールの電子掲示板および学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。